

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 水曜日・3校時	必修選択 必修	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	教養特別講義 / (Colloquium)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・講演	教室 403・201・中部講堂	
対象学生(クラス等) Eh T23B	科目分類 共通基礎科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山口純哉/Eメールアドレス:junya@nagasaki-u.ac.jp/研究室:経済学部/TEL:820-6326 /オフィスアワー:水曜 17:00-18:00 石松隆和/Eメールアドレス:ishi@nagasaki-u.ac.jp/研究室:工学部/TEL:819-2508 /オフィスアワー:月3校時 渡邊貴史/Eメールアドレス:twatanab@nagasaki-u.ac.jp/環境科学部・全学教育講義棟 353 室/819-2720/水曜日 12:00-14:00 富塚 明/研究室:環境科学部/TEL:819-2767 /オフィスアワー:木曜 12:00-13:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。 授業方法 :特別講演形式と講義形式の両建てにより行い、特別講演は学長、理事、名誉教授などが担当する。講義は、「長崎」3回、長崎「安全・安心」1回、「平和」3回、「海洋と文化」3回を講義する。 授業到達目標:特別講演により、長崎大学の理念に触れ、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により、学生生活の場である長崎の歴史、文化、自然を理解し、長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し、世界を理解する。被爆地長崎を通して平和について学び、平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに、古来より、大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め、長崎の歴史、文化、平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容 (概要) 長崎: 長崎の地域経済・社会の特徴を統計資料等を用いて概観したうえで、観光、まちづくりや文化といった視点から長崎の今を受講生とともに検討する。 長崎(安全・安心):長崎に暮らす高齢者や障害者の生活の現状を眺め、安全安心のためになにが必要かについて述べる。 海洋と文化:第1回:海洋と長崎の関わり:長崎の地域形成に与えた交易等の海洋での諸活動の影響を説明します。 第2回:長崎の水産資源の特徴:長崎の水産資源の特徴の説明を通じて日本の水産業の現状を説明します。 第3回:長崎の海岸地域の特徴:長崎の海岸地域の特徴と今後のあり方について説明します。 平和: イラク戦争、防衛庁の「省」への移行、憲法九条を変えようとする動き、北朝鮮の核実験など 21 世紀にはいつて平和の問題がこれまで以上に問われるようになっている。長崎県は原爆被爆県であると同時に全国有数の米軍・自衛隊基地を抱えている県でもある。核兵器と基地問題に焦点を当てて、長崎県のおかれている現状を考える。 第1回 長崎原爆被害の実相 第2回 核兵器をめぐる諸問題 第3回 米戦略と長崎県の軍事基地 第1回 4月16日 特別講演Ⅰ 齋藤 寛 (学 長) 第2回 4月23日 長 崎 山口純哉 (経済学部) 第3回 4月30日 長 崎 山口純哉 (経済学部) 第4回 5月 7日 長 崎 山口純哉 (経済学部) 第5回 5月14日 長崎(安全・安心) 石松隆和(工学部) 第6回 5月21日 特別講演Ⅱ 岩永 浩 (名誉教授) 第7回 5月28日 海洋と文化 渡邊貴史 (環境科学部) 第8回 6月 4日 海洋と文化 渡邊貴史 (環境科学部) 第9回 6月11日 海洋と文化 渡邊貴史 (環境科学部) 第10回 6月18日 特別講演Ⅲ 水田善次郎(名誉教授) 第11回 6月25日 特別講演Ⅳ 加藤有三 (名誉教授) 第12回 7月 2日 平 和 富塚 明 (環境科学部) 第13回 7月 9日 平 和 富塚 明 (環境科学部) 第14回 7月16日 平 和 富塚 明 (環境科学部) 第15回 7月23日 特別講演Ⅴ 福永博俊 (教育担当理事)			

キーワード	<p>長崎:長崎、文化、観光、まちづくり</p> <p>長崎(安全・安心):高齢者、地域、福祉、共生</p> <p>海洋と文化:地域、海洋交易、海洋資源、海岸</p> <p>平和:原爆被害、核兵器、基地、安保条約</p>
教科書・教材・参考書	<p>長崎:教員の作成した資料を用いるため、特に指定しない。</p> <p>長崎(安全・安心):なし</p> <p>海洋と文化:教科書は特に定めません。教材として講義時にハンドアウトを配布する予定です。参考書は講義時に指示いたします。</p> <p>平和:テキストは使用しない。プリントを適宜配付する。</p>
成績評価の方法・基準等	<p>長崎27点、長崎(安全・安心)9点、平和27点、海洋と文化27点、特別講演10点の配点とする。</p> <p>長崎:レポート(100%、9点×3回)</p> <p>長崎(安全・安心):レポート</p> <p>平和:毎回の講義のまとめ(100%)</p> <p>海洋と文化:レポート</p>
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ /学習・教育目標	
備考(準備学習等)	